

国際会長 (IP) Ulrik Lauridsen (Denmark)

“Let Your Light Shine”

「輝かそう、あなたの光を」

アジア太平洋地域会長 (AP) Chen Ming Chen (Taiwan)

“Elegantly Change with New Era”

「新しい時代とともに、エレガントに変化を」

東日本区理事 (RD) 佐藤 重良 (甲府21)

“Let's act now for the future”

「未来に向けて今すぐ行動しよう」

湘南・沖縄部部长 (DG) 小松 仲史 (厚木)

「楽しく・元気よく・前向きに」 副題: 入りたくなるワイズにしよう

横浜クラブ会長 (CP) 古賀 健一郎

「他者と共に生きる ~ 平和を求めて」

“Live together in harmony ~ for Peace”

会長 古賀 健一郎  
副会長 古田 和彦  
書記 古賀 健一郎  
会計 大高 治  
直前会長 古田 和彦

監事 松島 美一  
ブリテン 伊藤 誠彦  
担当主事 青木 英幸

### <今月の聖句>

古賀 健一郎

主の慈しみは決して絶えない。主の憐れみは決して尽きない。それは朝ごとに新たになる。あなたの真実はそれほど深い。

(哀歌 3章 22-23 節)

### 今月のひとこと

#### 動画「教えて！ふむふむ先生」

秋元 美晴



昨年の5月から、恵泉女学園大学の学生・留学生・有志の教職員の27人のメンバーとくふむふむ制作委員会>を立ち上げ、みんなで一緒に「教えて！ふむふむ先生」という約1分間の動画をInstagram、TikTok、Twitterの3つ

のSNSで発信しています。

2022年6月30日に第1回「虹 虫じゃないのに虫偏!？」を発信して、それから毎週水曜日に発信し続け、2023年1月25日の「ウクライナってどんな国?」は34回になりました。

動画がどのようなものかご紹介する前に、委員会立ち上げの経緯から説明いたします。恵泉女学園大学は1988年に設

置された東京都多摩市にあるリベラルアーツ主義の女子大です。小さな女子大ですので、知名度はあまり高くないため、一人でも多くの人に知ってもらえるように、恵泉女学園大学の魅力を伝えることを目的とし結成されました。

第1回ミーティングは5月18日、第2回は5月25日のいずれも昼休みに開き、趣旨説明、動画の構成と内容、テーマ、活用するSNSの利用法、役割分担、発信開始時期などについて、話し合いました。考えなければならぬことがたくさんありました。例えば、当初は在校生が身近な疑問について質問して、それに教員が答えるというものでした。しかし、それでは面白くないということで、キャラクターを考えることになりました。開学1、2年の頃、たぬきがごみ箱の中で寝ていると聞き、私は授業をそっちのけで学生たちと見に行っていたことがあったので、「たぬき」にしようということになりました。絵を描くことがとても上手な大学院生がいて、その人にたくさんの<ふむふむ先生>を描いてもらいました。



Instagram



Twitter



TikTok

そして、このふむふむ先生が毎週水曜日にいろいろな質問に答えることになりました。

次に動画の内容がどんなものかご紹介いたします。34本の動画のうち、Instagramの再生回数が一万以上と最も多かったのは、2022年8月31日に発信した「「あれ」って何?」です。台本をご覧ください。

## <2023年1月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F	
12名	メ 8名 メネット 1名 コメント 0名 ビジター 3名 ゲスト 2名 合計 14名	75 % (メーキャップ 1名を含む) 前月修正 出席率 %	今月分 切手 現金 年度累計 切手 現金	0g 0円 0g 0円

## <2月の行事予定>

EF/JEF

日	曜	時間	行事内容	場所
4	金		第3回東西日本区交流会	神戸
11	土	10:00	横浜 Y 会員大会	とつか Y
23	木	17:00	横浜クラブ第二例会	Zoom

### 「あれ」って何? の台本

登場人物 A: 学生 B: 学生 C: 留学生  
撮影場所 教員の研究室 学生 A と B は並んで座る。学生 C は二人の後ろに立つ

学生 A: ねえ、チャペルの上にあるやつ、なんていうんだっけ?

学生 B: あー、あれね。あれ、なんていうんだっけ?

学生 A: あれ、「カネ」じゃないよね。

学生 B: うん、あれ、名前があったと思う。

留学生 C: 二人とも「あれ」って言っているけど、あれって何?

学生 A・B: うーん。

留学生 C: 教えて! ふむふむ先生

<ふむふむ先生>ふむふむ。チャペルの上にある鐘の名前を思い出せない人が友達に聞いています。友達も「チャペルの上にある物」は知っているのですが、名前を思い出せません。つまり、二人とも物は知っているのです。「あれ」は、話し手と聞き手が頭の中で共通に知っている物や事についていうときに使います。

留学生 C (もしくは全員で): なるほど、そうなんだ。ふむふむ。

学生 A: で、結局「あれ」、何て言うんだっけ?

学生 B: なんだっけ?

留学生 C: 「カリヨン」じゃない?

学生 A・B: あー、それだ!

(文字情報 (これは SNS の動画上に流す))

大学のチャペルでは、月火水金の1時間目と2時間目の間にチャペルアワーを行っています。素敵なオルガンの音も聞けて、心落ち着くときが過ごせます。

このほか、「大丈夫って?」・「畑の広さでアール」・「どれにしようかな」・「「ぢ」と「じ」は何が違うの?」・「ク

リスマスにはチキン?」・「年越しそばはどうして食べるの?」・「ガチ中華ってなに?」などのテーマがあります。ことばを中心に年中行事など社会・文化についての内容になっています。

私の役目は台本を書くことと撮影の監督です。台本は隔週1本のペースで書くのですが結構大変です。ベテランの日本語の先生と二人で交代で書いています。私が書く台本はあまり面白くなく、日本語の先生と学生たちが修正して、楽しい内容に直してくれます。

キャスト、撮影、声優、編集、SNSに投稿する係など、多くの学生や留学生、それに忙しい中を教員や職員も支援してくれて、1本の動画を作り上げます。毎週木曜日の昼休みと授業の合間、放課後に集まり、それぞれの作業をします。撮影のときは、留学生のアクセントやイントネーションを直したり、視線の向きなどを考えたり、結構大変なのですが、それよりも何よりも、何がおかしいのかわかりませんが、学生や留学生は笑ってばかりいて、全然撮影できないときがあります。私は監督ですから、「はい、笑わないで!」などと注意するのですが、ついつい私も笑ってしまい、多くの時間を費やしてしまうことがあります。

数名の編集の係の学生は大変だと思うのですが、文句も言わず、学年や学部・学科も違う学生たちと衝突することもなく、4年生は卒論の提出の週もちゃんと火曜日までに「確認」の動画を送ってくれました。

コロナ禍で2020年春学期から2022年の春学期までの2年半はオンライン授業で、2022年の秋学期からやっとハイフレックスの授業になったので、学生・留学生は三々五々集まって、ふむふむ先生の活動をしながら、お菓子を食べて、愚痴を言ったり、時には悔し泣きをしたり、将来の夢を語ったりするのが楽しいのでしょうか。私はといえば、退職後、このように学生や留学生たち、そして有志の教員や職員たちと親しく交わりの時を持つことができるとは思ってもいませんでした。教員のときの私の学生の評価は、真面目さといかに勉強したかの2点でした。学生・留学生たち一人一人が持つ能力などわかりませんでしたし、知ろうとする余裕もありませんでした。

青春の真ただ中にあり、あふれんばかりの若さの学生や留学生たち、その人たちのおばあさんの年齢の私が一緒に活動できるなど、私は何と幸せ者かと思います。ふむふむ先生にお礼を言わなければなりません。ありがとう! ふむふむ先生。

## <1月第一例会>

古賀 健一郎

日時: 1月12日(木) 18:30~20:15

場所: 横浜中央YMCA 8階 811号室

出席者: 青木、秋元、伊藤、大高、古賀、佐竹、古田、松島

ゲスト: 池田直子(卓話者、横浜YMCA職員)、瀬谷智明(元横浜YMCA職員)

ビジター: 小松伸史(厚木)、千葉裕子(鎌倉)、辻剛(つづき) 計14名



例会は、秋元ワイズの司会により定刻に開始。古賀会長の開会点鐘、挨拶に続いて、ワイズ信条唱和。伊藤メネットによる今月の聖句朗読とお祈り。古賀会長によるゲスト・ビジター紹介の後、今例会の卓話は、横浜 YMCA 職員の池田直子さん『横浜 YMCA 活動と広報』と題してのお話。

池田さんは、横浜 YMCA の広報担当として、あらゆる横浜 YMCA のプログラムに参加しておられる。広報の立場から、“YMCA の活動の社会的意味・価値”を池田さんのお話から学ぶ場とした。以下は池田さんのお話の抜粋です。

① 横浜 YMCA の活動は、【横浜 YMCA 私たちの使命】

『イエス・キリストの生き方にもとづき、人間性が尊ばれ、公正で平和な世界の実現を目指し、地域社会に深く根ざしていく』ことに基づいている。

② 横浜 YMCA 会員活動（主なもの）

- ・5月会員総会・8月 AIDS 文化フォーラム in 横浜・9月 YMCA フェスタ・10月 チャリティーラン・11月 バザー・フェスタ・YMCA 祭・11月 YMCA・YWCA 合同祈禱礼拝・12月横浜 YMCA クリスマス礼拝・2月会員大会 ピースフォーラム・3月 子ども支援基金のためのチャリティーゴルフなど

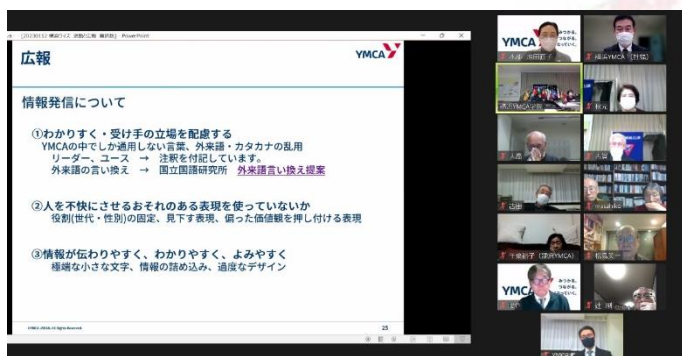
③ VISION2034 横浜 YMCA 創立 150 周年に向けた将来計画

- ★FOR HEALTHY LIVING 「子育て育ち」「生活のクオリティの向上」
- ★FOR YOUTH DEVELOPMENT 「ユースエンパワーメント」
- ★FOR SOCIAL RESPONSIBILITY 「社会に貢献」

④ 横浜中央 YMCA の活動

- ★専門学校 日本語スピーチコンテスト ★専門学校 留学生支援 チューター活動 ★ウエルカムフェスタ ★ユースカンファレンス ★つながる Cafe

⑤ 広報について



★【主な媒体】

- ・Web 広報 HP や SNS (blog・Facebook 他)・紙媒体 YMCA NEWS を中心に。プレスリリース、会員総会資料など。
- ・Web 広報と紙媒体 YMCA NEWS データ配信 → 維持会員の方 約3割強の方 紙媒体 → 維持会員の方 約6割強の方

★【情報発信について】

- ◎わかりやすく (YMCA の中でしか通用しない言葉、外来語・カタカナの乱用は避ける)
  - ・受け手の立場を配慮する
- ◎人を不快にさせない (役割 (世代・性別) の固定、見下す

表現、偏った価値観を押し付ける表現を避ける)

- ◎情報が伝わりやすく、分かりやすく、読みやすく
  - ・極端な小さな文字、情報の詰め込み、過度なデザインを避ける
- ◎正確に、適切に
  - ・受け手にとってあいまいな表現を避ける
- ◎女性・男性のバランス
  - ・どちらかの性を強調する言葉を避ける

⑥ 2022 年度基本聖句

『恵みの業をもたらす種を蒔け 愛の実りを刈り入れよ 新しい土地を耕せ。』(ホセア書 10章 12節)

\*\*\*\*\*

「引き続き、公正で平和な社会を創るため、担い手を育み、社会に貢献する活動を展開していきたいと思ひますし、広報として、そのことが地域や社会の方々に十分に伝わるように、工夫しながら、皆様の協力を得ながら、取り組んでまいりたいと思っています。ワイズメンズクラブの方々には、いつもお支えいただき感謝いたします。」(池田氏談)

\*\*\*\*\*

【(卓話をお聴きしての)皆様からの質問や感想を幾つか紹介したい】

- ・「この事業・イベントにはワイズも参加している」というようなアピールも時として加えながら、“YMCA ・ワイズの一体感”も、伝えていただければ・・・。
- ・長い間『横浜青年』にも携わってきたが、『ホドス』欄は何十年も同じ方の執筆になっているので、もっと活発にしてみたらどうだろうか？
- ・ワイズ東日本区の『Change! 2022 推進委員会』で検討したことの一つとして、全国のそれぞれの YMCA の機関紙に、従来からの“各クラブの記事”に加え、“東日本区のこと”、“国際協会のこと”の掲載の協力をお願いした。“YMCANEWS”でも昨年 12 月からその掲載が開始し、横浜 YMCA に感謝したい。
- ・YMCA のさまざまな活動の広がりを知り、どこに行っても佐竹さん(総主事)と池田さん(広報)にお会いする(笑)。さらに、いろいろ広報の立場でご苦労があることを知った。
- ・YMCA 内部のスタッフにも、「ワイズの方々など応援して下さる方がいらっしゃるんだよ！」ということを広報する必要があると感じた。特に外部の方と接点が少ないスタッフに、そうしたワイズの活動をもっと理解してもらうような働きを YMCA の内部でもやれたらいい。支えている方がいることで、大きなムーブメントが起きていくと考えるので...



《最後に》

池田さんの貴重なお話を伺いながら、昨年の横浜 YMCA クリスマス礼拝での上山牧師（横浜海岸教会）メッセージの締めくくりの言葉を思い出す。「これまで多くの人々に希望を与えてきた YMCA が、この暗い世の中だからこそ、この希望を人々に示していく責任を果たすことが出来たら、きっと神様は喜んで下さるのではないだろうか...。」

この YMCA の貴重な働きを、より多くの方々に伝える『広報』の役割は大きい。しかし、そうした広報活動を担う方々に一方的に頼るのでなく、私たち一人一人が“一(いち)広報担当”としての意識をもって、YMCA を知らない身近の方々に、自発的に発信していくことも大事である。そうしたみんなの力を結集した”総合的な広報活動”が、YMCA の理解・働きをさらに発展させることにつながると考える。

+++

卓話の後はビジネス。今後の予定等を確認して、閉会点鐘にて会を閉じた。

## 「近況：マスク時代」

大高 治



私はここ 3 年風邪を引かなかつたことに気が付きました。従来は年に 1～2 度引くのが通例でした。マスクと手洗い等、コロナ対策のお蔭です。

ラグビー・ワールドカップではボランティアを務め、横浜での準決勝、決勝戦（2019 年 11 月末）の夕刻には、新横浜や地下鉄の駅で内外のお客様を案内し、ハイタッチで見送ったのでした。入退場共に一杯機嫌のお客様が多く、コロナ禍では考えられないような濃厚接触が続きました。その夜熱を出しそれから 3 年風邪を引いてないのです。

記録を辿ると新型コロナは 2019 年 11 月 17 日中国の武漢で発生、12 月 8 日には SNS でリーク。発見した医師は罰せられ、自ら感染して死亡するという惨事が起こりました。大きく世界に広がったのは、2020 年 1 月 23 日の春節が契機でした。閉鎖された武漢から 500 万人が逃亡して全中国に、それから間もなく世界中を覆うようになりました。日本の主要都市では当初、姉妹都市や友好親善都市にマスクを寄贈する余裕がありましたが、間もなくマスクも消毒用アルコールも入手が困難になってしまいました。

欧米の国々ではマスクに対する嫌悪感が強く「自由に空気を吸う権利、神に与えられた呼吸の権利」を奪うとマスクの義務化に断固反対の国や、マスク着用を法律で義務付けた国もありました。また、サングラスを例に挙げながら、欧米とアジアでのアイコンタクトは異なると唱えた学者もおりました。

西洋では、人は口の回りを見てコンタクトする。マスク姿には安心感がないと嫌がり、東洋では目の回りを見てのコンタクト、「目は口ほどにものを言う」と、マスク姿に嫌悪感はありませんでした。一方、サングラスはメラニン色素の関係で、眼を覆っていても西欧では嫌悪感を持つ人はなく広く使われ、逆に東洋ではサングラスは特殊な人達の使うものとの

印象があります。マスク時代が 3 年過ぎ、このような議論は漸次消えようとしています。更に 2022 年に入ると欧米では屋外でのマスク着用義務の廃止、フランスではワクチン接種証明の提示義務の撤廃に進んで来ました。2023 年になると中国が遂にゼロコロナの撤廃に動き、日本でも季節性インフルエンザなどと同じ「5 類感染症」に変更されようとしています。今後の方向性についていろんな統計もあり、ワクチンに対してはまだ否定的な意見もあります。

今年の初めハーバードの白熱教室で有名な政治哲学者、倫理学者のマイケル サンデル教授による日本（慶応大学と東大）、中国（復旦大学）、アメリカ（ハーバード大学）の学生によるオンライン教室の再放送がありました。各掲題に対して立派な議論が展開されました。流石世界のブレインです。復旦大学の学生は全員が立派な英語で、「中国も下から積み上げて行く。民主主義は日本やアメリカと変わらない」と主張。だがマスクの議論になると日本の学生からも「自由は他人に迷惑をかけるな」という発言はありませんでした。日本でマスクがすうっ



と受け入れられた背景には、自己を守るだけではなく、古来、「他人に迷惑をかけるな」という躰と社会的な規範の賜物と思っていた私は、日本は変わってしまったのかとがっかりしました。60 年前、アメリカ人の英会話の先生の漢字の習い方は独特でした。「自由とは目から田から一つ手を伸ばし、社会の規範から一歩手を出すことか。素晴らしい」と言うのです。当時アメリカでは、自由は何でもやれることに近かったのだと思います。

更に日本人の行動にマスク着用をスムーズにしているもう一つ規範があります。欧州のビジネスマンがコミカルに語る各国の行動規範がそれです。世界各国の人々が乗っているタイタニックのような大型客船が沈みかけました。半数の人に海に飛び込んで貰わなければなりません。どう説得したら良いか。イギリス人には「ジェントルマンでしょう」、ドイツ人には「規則だ」と。アメリカ人には「保険に入っているよ」、フランス人には「どこで死ぬかはあなたの自由」、イタリア人には「飛び込むな」と言うのです。さて、日本人には？ ベストアンサーは「みんな飛び込んでいるよ」でした。

韓国人と中国人を説得する言葉はありませんでした。直接、韓国と台湾の友人に聞いてみたことがあります。韓国人は「一緒に行きましょう」と言う。韓国で長く働いたことのある友人は「良きにつけ、悪しきにつけ、そうですね」と同感。台湾人は大陸の中国人もまず自己の利益を求めるから「賞金が出るよ」が良いだろうと言う。今日では台湾と大陸では多少違うかも知れません。

このように見て来ると、日本人の行動規範、少し薄まったとは言え「他人に迷惑をかけるな」はまだ生きています。「皆に歩調を合わせる」行動規範もお捨て難いものがあります。昨今は何でも右へ倣えではありません。



アメリカに住む日本人の友は「3年前と同様、コンサートやスーパー、YMCA ジムでマスクを着けているとジロジロ見られて、恥ずかしいくらいです。それでも若者が運動するYMCAのジムではマスクを着けるようにしている」と言って来ました。新型コロナが感染症の5類に格下げになっても、感染者が出る限り、日本では簡単には「マスクよ、さようなら」とはならないように思います。夏は多少問題でも、冬場は寒さを防ぎ、乾燥除けにもなります。年を取り黄ばんできた我が家のムーミン君、2020年の4月からマスクを着けたままです。しばらくはそのまま居て欲しいと思います。

## 第二例会報告

伊藤 誠彦

日時 ; 2022年1月26日(木) 17:00~18:00 (Zoom)

出席者 ; 青木、伊藤、大高、古賀、古田  
古賀会長のお祈りに続いて定刻に開催。

### 1. 行事予定の確認

資料に基づき1月~3月の行事予定の確認

### 2. 協議・報告事項

#### (1) 横浜クラブ2月例会

2月の第1例会は、2月11日(祝・土) 10:00~12:00  
横浜 YMCA 会員大会~ピースフォーラムへの出席が第一例会出席を兼ねる。

#### (2) 3月・4月・5月例会

古賀会長より幾つかの案が提示され、それに基づき協議し、次の通りの結果となった。

#### ・3月例会

3月16日(木)13:00~15:00の横浜学院専門学校修了式への参加が3月第一例会出席を兼ねる。

修了式は中央Yチャペルで開催されるがオンラインで視聴することも可能。

チャペルでワイズとして贈る言葉が期待されている。

#### ・4月例会

コロナの状況が許せば、延び延びになっていた秋元ワイズと青木ワイズの入会式を実施する。

4月例会卓話は可能であればウクライナ・ミャンマーの支援状況を国際事業関係者にお願いしたい。

#### ・5月例会

日比保史氏に卓話を依頼したいが、忙しい人なので果たして実現するかどうか分からない。お願いだけしておくことにする。

#### ・その他、古賀会長案にあった「森の家」での一泊研修会は見送り。

#### (3) 次年度役員を選出

・次期会長は1月例会にて古田ワイズに決定。

・古田次期会長よりその他の役員について次の通り要望があり、出席者は了承した。

次期書記 古賀ワイズ、次期会計 大高ワイズ、次期ブリテン担当 伊藤ワイズ

尚、次期副会長その他の役割は古田次期会長が個別に交渉する旨発言があった。



担当主事 青木 英幸

2月に横浜 YMCA では2つの講演会を予定しています。

一つ目は、2月11日(土・休日)10:00~12:30に湘南とつかYMCAを会場としてオンライン (Zoom) 併用で、『2022年度会員大会~ピースフォーラム~』を開催いたします。特別講演として「歴史から学ぶ戦争と平和~人と人とが、分かり合える世界とは~」をテーマに、アニメ映画「機動戦士ガンダム THE ORIGIN」原作・総監督の安彦良和氏をお迎えし、「作品を通して伝えたい平和」についてお話を伺います。ユース世代の学生たちも映画を知っており、今から楽しみにしていますと言う声を多数聞いています。皆さまのご参加をお待ちしております。

二つ目は、2月18日(土) 15:00~16:30で横浜中央YMCAチャペルおよびオンライン (Zoom) にて「横浜YMCAピンクシャツデー講演会 笑いで育む温かい人間関係~いじめ・不登校への取り組み」をテーマに、温かい気持ちになる笑いを生み出す『教育漫才』の取り組みにより、子どもたちに「あたたかいコミュニケーションとは何か」を伝え続けてきた田畑栄一氏(埼玉県越谷市立新方小学校校長)のお話を伺います。子どもたちが安心して過ごせる居場所を創り出すためにできることを共に考える機会を持てればと思います。お申込みはこちらからお願いいたします。

[https://www.yokohamaymca.org/event/pinkshirtday\\_0218/](https://www.yokohamaymca.org/event/pinkshirtday_0218/)

### 2月例会プログラム

日時 : 2月11日(土) 10:00~12:30

場所 : 湘南とつかYMCA

横浜YMCA会員大会に参加

Happy Birthday 大高 治

例会報告 : 秋元ワイズ

### 3月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
4・5	土		次期会長・部役員研修会	東山荘
7	火	19:00	第97回Y-Y's協議会	中央Y
16	木	13:00	横浜学院専門学校修了式 兼横浜クラブ第一例会	中央Y
23	木	17:00	横浜クラブ第二例会	Zoom

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA 青木英幸にご連絡下さい。

メール [aoki\\_hideyuki@yokohamaymca.org](mailto:aoki_hideyuki@yokohamaymca.org)

電話 045-661-0080